ジャズ・シンガー（1927）

THE JAZZ SINGER

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 89分
初公開日 1930/08
公開情報 劇場公開

【解説】

無声映画からトーキーへと移行した第一弾が、この作品。映画史上初めてのセリフ「お楽しみはこれからだ！」はあまりにも有名。ユダヤ教徒で司祭長の息子であるジェイキーは、後を継ぐよりジャズ歌手になることが夢だった。そんな彼は、酒場で歌っているところを見つかって勘当されてしまう。その後のジェイキーは、サンフランシスコでジャック・ロビンと名乗り、歌手として地道に生計を立てていた。やがて才能あるミュージカル女優メアリーに後押しされ、トントン拍子に売れっ子となるジェイキー。だが念願のブロードウェイの仕事が決まり、明日が舞台初日というときに父が倒れてしまった。その日は教徒にとって大切な“贖罪の日”。代わりに賛美歌コル・ニドレを歌ってくれと、母が訪ねて来る。またとないチャンスを棒に振るのかと、舞台のプロデューサーとメアリーは引き留めようとする。母が悲しみ嘆願する姿を見て、葛藤するジェイキー。だが瀕死の父の顔を見、代々の家業を継ぐことよりもこの日息子が歌ってさえくれれば、という言葉を聞き、ジェイキーは決心した。見事にイスラエルの賛美歌を歌うジェイキー。“ジャズ・シンガーが賛美歌を歌ってる！”とプロデューサーは感動する。この場面は、ほんとうに感動的だ。何とか彼は、ブロードウェイに復帰できるようになる。そして、母に捧げる内容の歌詞が、じっさいに母親を感動させるのだった。ジェイキーの舞台での役回りが黒人であったり、ＮＹでのユダヤ人街といった設定、職業世襲制といった、古い文化を否定しきれない隠されたテーマも含まれている。

【クレジット】

監督	アラン・クロスランド	Alan Crosland
脚本	アルフレッド・Ａ・コーン	Alfred A. Cohn
音楽	ルイス・シルヴァース	Louis Silvers
出演	アル・ジョルソン	Al Jolson
	メイ・マカヴォイ	May McAvoy
	ワーナー・オーランド	Warner Oland
	ユージニー・ベッセラー	Eugenie Besserer
	オットー・レデラー	
	ウィリアム・デマレスト	William Demarest
	ロスコー・カーンズ	Roscoe Karns
	マーナ・ロイ	Myrna Loy

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.